



株主の皆様へ

証券コード 7887

第59期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。

安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR/コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼
申し上げます。

ここに第59期中間報告書をお届けするにあたり、一言
ご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間のわが国経済は、東日本大震災の
影響により依然として厳しい状況にありましたが、持ち直しの
兆しが見られるようになりました。

また、住宅業界におきましては、震災による住宅投資意欲の
低下が懸念されましたが、住宅ローン減税等政府の住宅取得
支援策の効果により、新設住宅着工戸数は前年同期に比べ
増加いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、グループの経営基盤
の強化を進め、海外生産を活用した低コストの収納材の拡販
や床材のシェア拡大など売上拡大を最重点課題として、
「低コスト」「高品質」を武器に製品の販売量の増加に努めて
まいりました。また、海外を含めた新規市場開拓にも取り組んで
まいりました。

先行きの景気は、政府の各種の政策効果などを背景に、持ち
直し傾向が続くことが期待されますが、海外景気の下振れ
懸念や為替・株価の変動などにより、景気が下押しされるリス
クが存在しております。不透明な状況での推移が予想されます
ので注意して見ていくことが必要と思っております。

当社グループといたしましては、積極的な提案営業活動による
売上の拡大と、グループの経営基盤の強化を推進してまいり
ます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻
を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



「上海駐在員事務所開設」

当社は、今般、中国上海に駐在員事務所を新規開設いたしました。

■ 開設の目的

経済成長を続ける中国国内における住宅市場の需要が今後拡大していくことが見込まれております。

当社では、これまでも中国市場の調査・分析を行ってまいりましたが、中国市場への参入のためには、中国においてより迅速に情報収集、分析を行える態勢を整えることが必要と判断し、この度上海市に駐在員事務所を開設することといたしました。

■ 上海駐在員事務所の概要

名 称：日本南海木質裝飾建材株式会社上海代表処

所 在 地：上海市崑山閘路85号東方國際大廈C座1106室

Rm.1106 Orient International Plaza Part C

No.85 Lou Shan Guan Road, Shanghai 200336 China

首席代表：打越 章文

人 員：開設時は日本人（代表）1名と現地採用スタッフ1名

設立年月日：2011年5月31日

T E L：021-6278-7760（上海）



ルミストに、新しい手摺のカタチが登場!



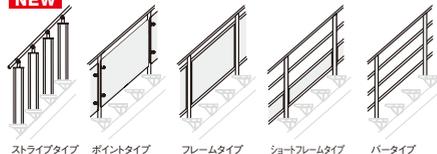
上階と下階に流れるスタイリッシュなラインが魅力です。

アルミ：マッドステン
木質：アッシュブラウン
手摺形状：ストライプタイプ
上階70cm手摺：フレームタイプ(クリア)

アルミ製オープン階段 [ルミスト]

手摺形状バリエーション

NEW



デコラティブな雰囲気漂う手摺柱のデザインが空間に新しいイメージを提供します。
また、握りやすい丸棒タイプのバーを採用。しっかりと握れるので安全性が向上しました。

人気のビートメイプル [12mm厚フロア] に新色登場!



ビートメイプル/ブラウン

New Color Debut!

ArtFloor LIVL アートフロアリブル

Beat Maple BROWN

ビートメイプル / ブラウン

入皮や染み模様の独特な変化と、個性豊かな木目を表現したビートメイプル。より深い味わいを醸し出すブラウン色が加わることで、さらにコーディネート幅が広がります。

[アートフロア リブル/アートフロア LIP6]

さらに人気色ビートメイプルが6mmフロアとしてもラインナップ

ArtFloor LIP6 Beat Maple

アートフロア LIP6 ビートメイプル



リフォームにも最適な薄型の6mmフロアでリーズナブルに空間のイメージチェンジができます。

いつでも間取りが変えられる、 新しい可動間仕切 [マジキロウ] 新登場。

オーダーメイド可動間仕切 [マジキロウ]

NEW

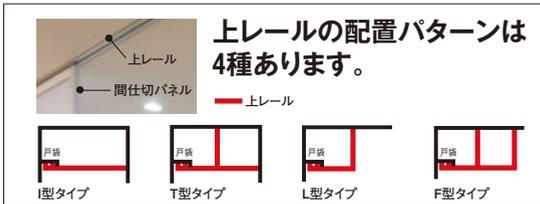


普段は家事スペース



完全に仕切って客間に

間仕切パネルの配置パターンを変えることで、いつでも気軽に間取り変更ができるオーダーメイド可動間仕切 [マジキロウ]。間仕切り方を自由に変えて、ひとつの空間を多目的に活用することが可能です。



パネルのコーナー走行を実現



女性でもラクラク可動できます。



将来の空間の使い方を想像し、設計段階で間仕切パネルを配置したい位置まで、上レールを設置しておきます。こうすることで、大掛かりな工事をすることなく、間仕切パネルの配置を変えるだけで、簡単に間取りチェンジができます。

人気のリビング収納リフが、全面リニューアル。 より洗練されて美しく、使いやすくなります。

インテリアロングボード [アートランバーリフ]



NEW

ホワイトオバンコール



ナチュラルウォールナット

NEW



ベージュオーク

NEW

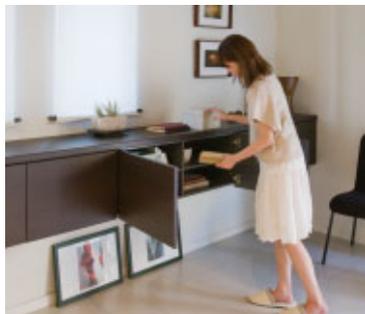


ブラウンウォールナット



ブラックウォールナット

新しいカラーが増え、シンプルななかにより豊かな表情を作り出せるようになりました。また、新たに35ミリ厚の棚板を追加し、ライトな存在感で仕上げることも可能。使い方の自由度が広がります。



リビングや寝室といった従来の使用場所にとらわれず、壁付けのカウンター&収納として様々なシーンで使えるように、仕様を見直しました。シンプルなデザインとカラーリング、壁付け施工による独立感によりどんなインテリアにも馴染む使いやすい商品です。

当第2四半期累計期間の概況

当社グループでは、依然として厳しい経済状況のなか、積極的な提案営業活動による売上の拡大に努めました。

木材関連事業におきましては、収納材を中心とした主要製品の拡販、新規需要の開拓等積極的な販売活動を推進いたしました。製造部門では、製品加工の集約化、効率化、内製化による生産体制の整備を図ることによるコストダウンを実施いたしました。

一方、電線関連事業につきましては、民間設備投資の脆弱さに加え、公共工事も引き続き低迷し熾烈な受注競争が繰り広げられるなか、病院、学校、郊外ショッピングセンター等をターゲットに販売活動を実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高58億89百万円、営業利益4億50百万円、経常利益3億11百万円、四半期純損失1億95百万円となりました。

通期の見通し

景気の持ち直し傾向が続くことを期待しますが、依然として厳しい状況が続く、先行き不透明な状況で推移していくと予想しております。

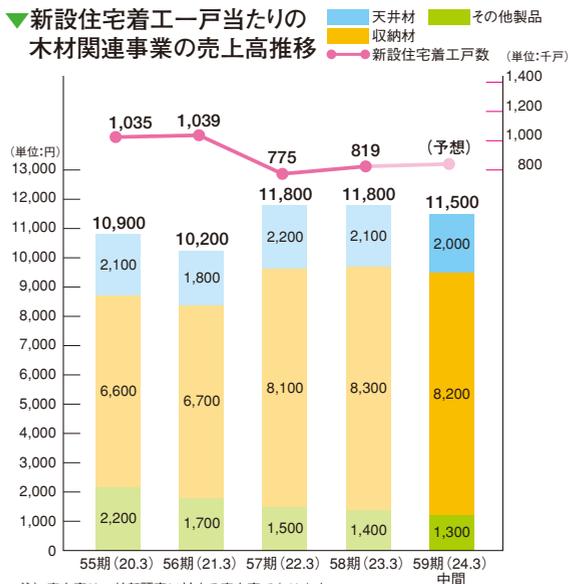
当社グループといたしましては、売上の拡大に努め、グループの業績回復に全力で取り組んでまいります。

木材関連事業におきましては、収納材を中心とした主要製品のホームビルダーへの提案営業活動により売上目標の達成に努めてまいります。また、製造部門では、製品加工の集約化、効率化、内製化等によるコストダウンを推進してまいります。

一方、電線関連事業につきましては、競争激化の非常に厳しい状況にありますが、建設物件獲得に向け積極的な営業活動を展開してまいります。

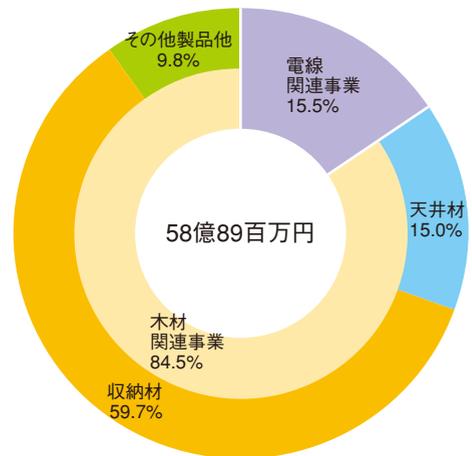
通期の連結業績は、売上高117億50百万円、営業利益10億60百万円、経常利益9億円、当期純利益2億円になるものと予想しております。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

▼セグメント別の連結売上高構成



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日)
■資産の部		
流動資産	9,358	8,820
現金及び預金	2,651	1,204
受取手形及び売掛金	4,337	4,462
商品及び製品	701	734
仕掛品	550	808
原材料及び貯蔵品	882	1,201
その他	242	418
貸倒引当金	△8	△9
固定資産	8,170	8,295
有形固定資産	5,705	5,683
建物及び構築物	1,262	1,212
機械装置及び運搬具	484	440
工具、器具及び備品	39	41
土地	3,918	3,916
建設仮勘定	0	49
その他	—	22
無形固定資産	209	427
投資その他の資産	2,255	2,184
投資有価証券	532	570
投資不動産	1,072	1,073
その他	712	602
貸倒引当金	△61	△61
資産合計	17,529	17,116

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日)
■負債の部		
流動負債	1,651	1,445
支払手形及び買掛金	984	758
未払金	229	323
未払費用	70	76
未払法人税等	148	24
未払消費税等	73	45
賞与引当金	121	136
環境対策引当金	4	4
資産除去債務	—	12
デリバティブ債務	—	15
その他	18	49
固定負債	131	115
退職給付引当金	79	81
役員退職慰労引当金	10	10
資産除去債務	12	—
その他	29	23
負債合計	1,782	1,561
■純資産の部		
株主資本	15,873	15,628
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,015	11,771
自己株式	△129	△129
その他の包括利益累計額	△150	△102
その他有価証券評価差額金	△35	△12
繰延ヘッジ損益	18	△9
為替換算調整勘定	△134	△80
少数株主持分	24	29
純資産合計	15,746	15,555
負債・純資産合計	17,529	17,116

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日
売上高	5,202	5,889
売上原価	3,522	3,784
売上総利益	1,680	2,104
販売費及び一般管理費	1,669	1,654
営業利益	10	450
営業外収益	78	77
営業外費用	66	216
経常利益	21	311
特別利益	17	21
特別損失	27	657
税金等調整前四半期純利益(△純損失)	11	△324
法人税等	41	△131
少数株主損益調整前四半期純損失	△30	△193
少数株主利益(△損失)	△3	2
四半期純利益(△純損失)	△27	△195

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

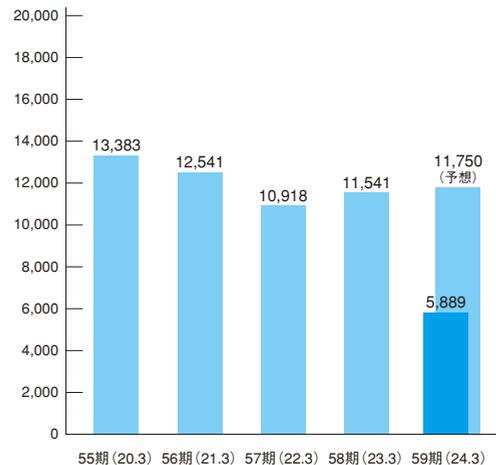
	前第2四半期 連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	316	△1,069
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157	△318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148	△48
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△4
現金及び現金同等物の増減(△)額	△8	△1,441
現金及び現金同等物の期首残高	2,062	2,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,054	1,202

■ 損益ポイント

1. 売上原価率が前年同期に比べ3.7ポイント改善しております。
2. 営業外費用に為替差損183百万円計上しております。
3. 特別損失に訴訟関連損失645百万円計上しております。

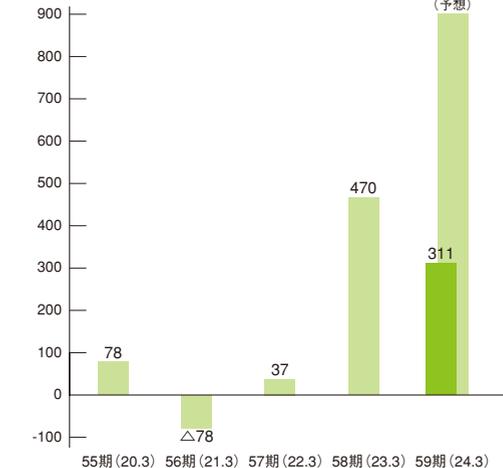
▽ 売上高の推移

(単位:百万円)



▽ 経常利益の推移

(単位:百万円)



安定した明るい未来の暮らしのために、植林事業を推進しています。

● 植林地リポート



Thanks Earth. Thanks People.

ECO-RING NOW

地球環境をサステナブルに変える、小さなファルカタの大きな生長記録です。



豊かな自然が広がるインドネシア・ジャワ島南東部のルマジャン県チャンディプロ郡スンプルウル村。

この地に、新たに7.3haの耕作地を購入し、現在3haにファルカタ約10,000本・クランパヤン約700本の植林を行いました。今後、年内に最終5haまで植樹を行う予定です。

マラン県に購入済みの7.6haの次期植林予定地を含めると、ジャワ島での植林面積は年内に述べ25haにまで拡がり、2006年から開始した植林事業はその他地域を合わせ、65ha(サッカーグラウンド約91面分)まで拡大し、順調に計画を遂行しています。

また、グループ会社のPT. NANKAI INDONESIAが主体となり、樹木間の土地を活用し植林と農業の共存を図り、地域を活性化させることを目的とした「アグロフォレストリー研究会」をインドネシアのUPN大学・ボゴール農業大学、日本の香川大学と共同で発足させ、地域社会の発展にも貢献しています。



株式の状況

(平成23年9月30日現在)

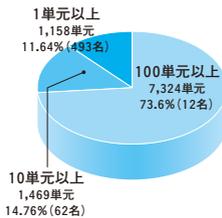
総数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	10,095,800株
株主数	716名(前期末比4名減)

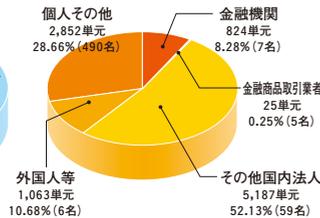
大株主

株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,943千株	29.15%
財団法人南海育英会	1,554	15.39
SIX SIS LTD.	657	6.50
株式会社百十四銀行	467	4.63
南海プライウッド株式会社	406	4.03
丸山修	344	3.41
株式会社愛媛銀行	243	2.40
CLARIDEN LEU LTD	179	1.77
南海プライウッド従業員持株会	149	1.48
SOCIETE GENERALE NRA NODTT	136	1.34

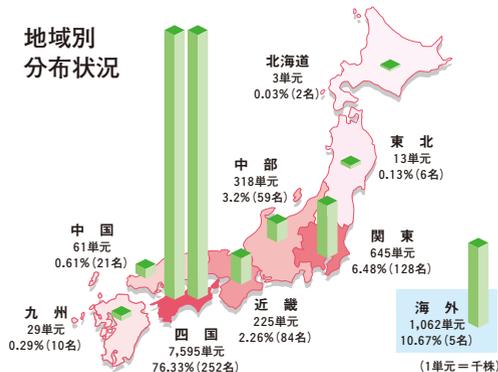
所有単元数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成23年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087 (825) 3615

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 372名(連結1,112名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	常勤監査役	秋山 二郎
取締役・執行役員	小紅 正晴	監査役	大川 俊徳
取締役・執行役員	藤村 岳志	監査役	岩部 達雄
取締役・執行役員	正箱 孝史	監査役	村田 剛
取締役・執行役員	丸山 宏	執行役員	小野 彰三
取締役・執行役員	玉置 康洋	執行役員	蓮井 孝治
		執行役員	松浦 義博

(注) 常勤監査役 田井雅士氏の逝去(平成23年7月21日)に伴い、高松地方裁判所へ仮監査役として秋山二郎氏選任の申請を行い、平成23年9月1日付で高松地方裁判所から申請内容を認める旨の決定通知を受け、仮監査役として同氏が就任いたしました。

連結子会社

(平成23年9月30日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT.NANKAI INDONESIA
 SENTUHAMONI SDN.,BHD. ※
 EDA KILANG PAPAN SDN.,BHD. ※
 ※清算手続き中

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成23年9月30日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 / 定時株主総会の議決権 3月31日
 - 期末配当 3月31日
 - 中間配当 9月30日※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 / 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 / 大阪証券取引所 市場第二部 (証券コード 7887)
- 単元株式数 / 1,000株
- 株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
【郵便物送付先 / 各種お問合せ先】
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕



南海プライウッド株式会社